

ケース⑪⑯ 技術の種類：透過性地下水浄化壁

【技術の概要】

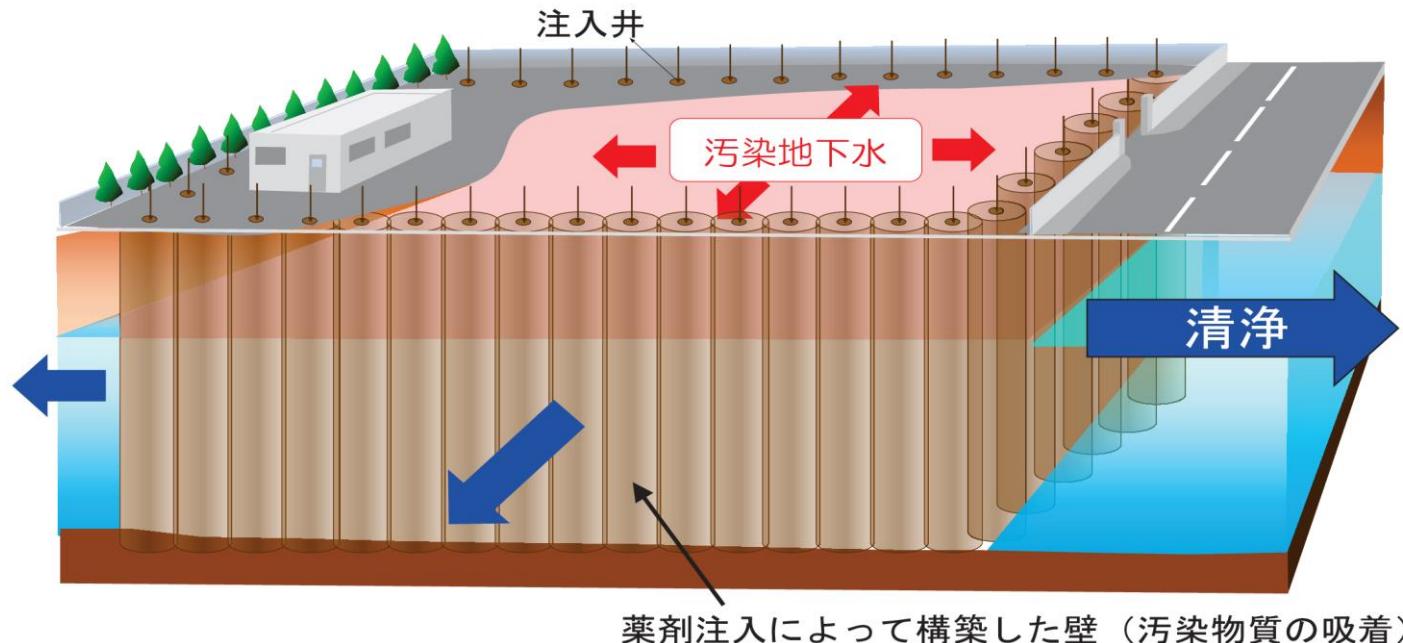
汚染範囲やその周囲、あるいは地下水下流側敷地境界部に柱列状に設けた井戸からスラリー薬剤を注入し、汚染物質を吸着する壁を構築します。汚染地下水が壁を通過する際に、地下水から汚染物質を吸着・除去し、汚染の拡散を防止します。汚染物質種類、濃度等により薬剤を選定しますが、今回は酸化鉄を主成分とする無害な薬剤を提案いたします。

対象物質

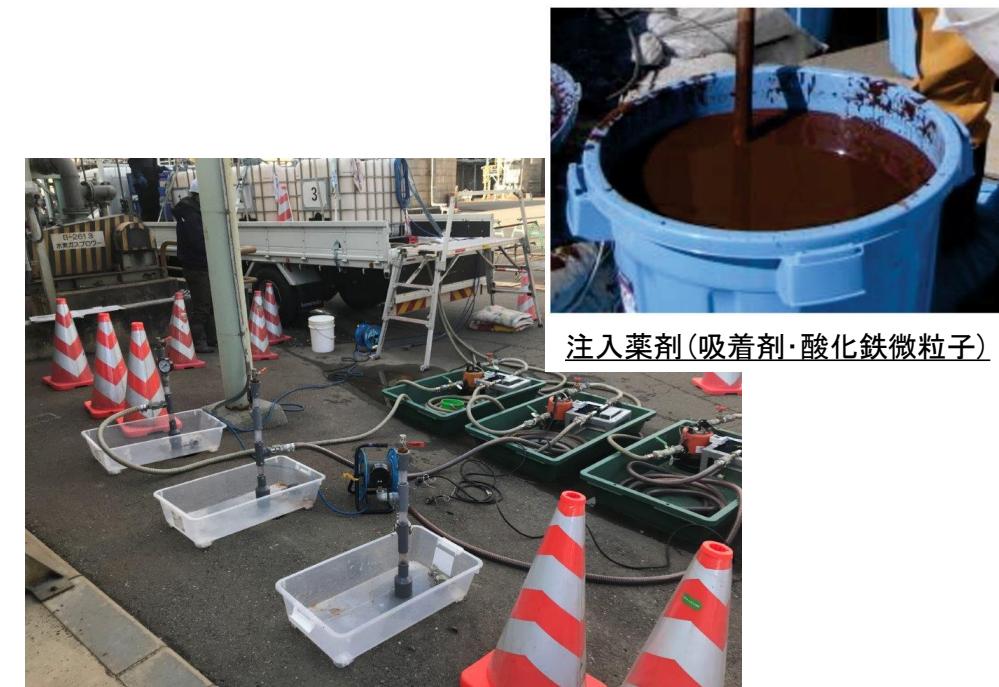
カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、砒素、ふつ素、ほう素

適用濃度

各物質とも第二溶出量基準、第二地下水基準への対応可能。砒素は基準値の990倍の汚染地下水、六価クロムは基準値の5,000倍の汚染地下水でもそれぞれ適用可能。



透過性地下水浄化壁の概要



施工状況（薬剤注入）